

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	エタノール
会社名	アーク株式会社
担当部門	業務部
住所	大阪市北区西天満3-10-3
電話番号	06-6809-5970
FAX番号	06-6809-5975

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	
引火性液体	区分2
健康に対する有害性	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B
発がん性	区分1A
生殖毒性	区分1A
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(肝臓)、区分2(中枢神経系)
環境に対する有害性	GHS区分に該当する項目がない

上記で記載がない危険有害性は、分類に該当しないか分類できません。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険
引火性の高い液体及び蒸気
眼刺激
発がんのおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手、顔をよく洗うこと。

応急措置	<p>この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。</p> <p>吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。</p>
保管	<p>火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。</p>
廃棄	<p>施錠して保管すること。 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。</p>

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	エタノール
慣用名又は別名	エチルアルコール
含有率	≥95vol%
CAS番号	64-17-5
化審法官報公示整理番号	2-202
安衛法官報公示整理番号	公表物質

4. 応急措置

吸入した場合	<p>空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。</p>
皮膚に付着した場合	<p>皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断を受けること。</p>
眼に入った場合	<p>直ちに、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を15分以上続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。</p>
飲み込んだ場合	<p>口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。</p>

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	棒状放水
火災時の特有の危険有害性	<p>熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。 極めて燃え易く、熱、火花、火炎で容易に発火する。 蒸気が空気より重いので、地面或は溝などを移動し、遠くに着火源があっても着火する事があるので注意する。</p>
特有の消火方法	<p>火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。 消火作業は、風上から行う。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。</p>
消火を行う者の保護具及び予防措置	適切な呼吸器保護具、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- 流出した場所の周囲に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 漏洩時の処理を行う際には、必ず適切な呼吸器保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する。
- 全ての着火源を流出した場所の周囲から取り除く。
- 密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項

- 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を及ぼさないように対処する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材**回収**

- 少量の場合は吸着剤(おがくず・土・砂等)で吸収させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でふき取る。
- 多量の場合、土砂等、不燃物で囲って流出を防止し、スコップなどで空容器に回収する。
- 回収する機材は火花を発生させない器具を用いる。
- 風上から作業し、風下の人を退避させる。

中和

- 「13. 廃棄上の注意」に従い適切に処理する。

7. 取扱い上及び保管上の注意**取扱い****技術的対策(局所排気、全体換気等)**

- 適切な全体換気または局所排気を行う。
- 安全シャワー、洗眼器を設置する。
- 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用する。
- 静電気放電に対する措置を講ずる。

安全取扱注意事項

- 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 適切に接地する。
- 取り扱いは、適切な換気設備の下で行う。
- 裸火、熱源又は着火源の近くで取り扱わない。
- 溝やくぼみなどに製品がたまるのを防ぐ。
- 火花を発生させない工具を使用する。

接触回避

- ミスト、蒸気を吸入しない。
- 眼、皮膚との接触を避ける。

衛生対策

- 取扱い後は、手、顔をよく洗う。

保管**安全な保管条件**

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておく。
- 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置く。
- 保管容器は接地する。
- 施錠して保管する。

安全な容器包装材料

- オリジナル容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**管理濃度**

設定されていない

許容濃度日本産業衛生学会
ACGIH(2015年版)設定されていない
STEL 1000ppm**設備対策**

- 適切な全体換気または局所排気を行う。
- 取扱場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

- 呼吸用保護具 適切な呼吸器用保護具を着用する。

手の保護具
 眼の保護具
 皮膚及び身体の保護具

不浸透性の保護手袋
 安全眼鏡、保護ゴーグル
 長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	液体
色	無色透明
臭い	アルコール臭
融点／凝固点	-114℃
沸点又は初留点及び沸点範囲	78℃
可燃性	可燃性
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	下限界 2.5% 上限界 13.5%
引火点	13℃ (密閉式)
自然発火点	363℃
分解温度	情報なし
pH	中性
動粘性率	1.2mPa (20℃)
溶解度	完全混和する
n-オクタノール／水分配係数(log値)	-0.35(20℃)
蒸気圧	5726Pa(20℃)
密度	0.789-0.811(20℃)
相対ガス密度	1.59
粒子特性	該当しない
その他データ	臭い閾値 18.8mg/m ³

10. 安定性及び反応性

反応性	強酸化剤と激しく反応する。
化学的安定性	推奨する使用、保管条件下では安定である。
避けるべき条件	熱源、着火源
混触危険物質	酸化剤、強酸、高温のアルミニウム
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素
危険有害反応可能性	強酸化剤、過酸化物、アルカリ金属、アンモニア、過酸化水素と反応する可能性がある。

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	ラットLD50が6200～17800mg/kgの複数データがあり、全てがGHS区分に該当しない。
経皮	ウサギのLDL0が20000mg/kgであり、GHS区分に該当しない。
吸入(蒸気)	ラットLC50が63000ppm、66280ppmで、何れもGHS区分に該当しない。
皮膚腐食性／刺激性	ウサギを用いた試験で刺激性なしの結果。
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	ウサギを用いた試験で中等度の刺激性とされ、殆どの所見が7日以内に回復している。
呼吸器感受性	データ不足で分類できない。
皮膚感受性	データ不足で分類できない。
生殖細胞変異原性	Ames試験、染色体異常試験、小核試験等多くの変異原性試験で陰性であるが、ガイダンスでの判断ではデータ不足で分類できない。
発がん性	IARCではアルコール飲料を発がん性評価1とし、ACGIHではエタノールをA3と評価している。
生殖毒性	ヒトではエタノール摂取すると新生児に奇形を生じることが知られていて、ヒトに対する生殖毒性を示す確かな証拠と考えられる。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ヒトの吸入ばく露により気道への刺激が報告。血中エタノール濃度の上昇に伴い、中毒症状を生じ、実験動物でも中枢神経系の抑制がみられている。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトでの長期大量摂取は肝臓に強い影響を与え、依存症患者の治療に、FDAは治療薬を承認していることから、区分2(中枢神経系)とした。

誤えん有害性
その他

データ不足で分類できない。
情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性(急性)

急性魚毒性	LC50	ファットヘッドミノー	>100mg/L (96時間)
ミジンコ遊泳阻害	EC50	ネコゼミジンコ	5012mg/L (48時間)
藻類生長阻害	EC50	クロレラ	1000mg/L (96時間)
残留性・分解性	良分解 (既存点検、BOD分解度 89%)		
生体蓄積性	LogPow -0.35に基づき蓄積性は低いと予測される。		
土壤中の移動性	揮発性があり、水によく溶解し、速やかに分散する。		

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者もしくは公共団体に委託して処理する。

汚染容器及び包装

内容物を完全に除去した後に処分する。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送

国連番号	UN1170
品名	エタノール
国連分類	3
容器等級	II
海洋汚染物質	非該当

航空輸送

国連番号	UN1170
品名	エタノール
国連分類	3
容器等級	II

緊急時応急措置指針番号(NAERG) 127

国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従う
航空規制情報	航空法の規定に従う
陸上規制情報	消防法の規定に従う

その他

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
直射日光を避けて輸送する。
輸送時にイエローカードの携帯する。

15. 適用法令

化学物質排出管理促進法	非該当
労働安全衛生法	
表示義務、通知対象物質	エタノール
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	危険物第4類 アルコール類 危険等級II 水溶性

16. その他情報

参考文献

- ・「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」JIS Z 7253:2019
- ・サプライヤーSDS
- ・NITE公開、政府GHS分類結果
- ・NITE CHRIP
- ・J-Check

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の実施を前提としたものなので、特殊な取り扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。